



寒い毎日を楽しく過ごそうとしているポーポキです。咲いている梅の木を見つけるとよろこびます。

Popoki's Hot News!



ポーポキのピース・ブック3!

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』の出版準備をすすめています! 3月に出る予定です。皆さまからのご注文をお待ちしています!

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのてつりにゃんから届いた平和:

「私はこの三月で学校を卒業し、四月から国外で働く予定です。

どこにいても今までのように友達に友達のままで、どこにいても今までのように平和について考えたいと思います。ポーポキとの関わり方は違うかもしれませんが、大切な所はそのままの様な気がします。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか? ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



ぼくのFB頁ができました!!! ぜひ観てくださいね!

www.facebook.com/pages/Popoki-Peace-Project ポーポキピースプロジェクト/1384738958444817

いつもご協力、ありがとうございます!

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」

(エピック 2012) はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいと思います!

*神戸 YMCA でも販売していますよ! 本については、

<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。



ポーポキ in 芦屋 ～「多様性は、可能性！」

芦屋市 企業人権啓発セミナー 2014年1月24日

ろにゃん

1月24日にポーポキとろにゃんが芦屋市で多様性について、ワークショップをしました。もりにゃん、さとにゃんは応援に来ました。今回、想定されていた「多様性」はおそらく国籍、エスニシティ、身体的・精神的特徴といったものでしたが、ポーポキだから生き物の多様性、セクシュアリティなど、幅広い「多様性」となりました。参加された18名の方々も多様性に富んでいて、面白いワークショップでした。

今回、ワークショップにとりいれた「多様性」をひとつ紹介しましょう。背丈の順に並んでもらったあと、「比較して良い特徴・比較してほしくない特徴（体重など）」を考えるという作業です。お絵描きタイムは、「ダイバーシティ（多様性）」をテーマに、ポーポキと一緒に暮らせる楽しいまちをテーマにしました。硬い表情で「20年もクレヨンを使っていません」と心配そうに断る人も最後には「ポーポキ・マジック」にのって、楽しそうに参加していました。ポーポキもろにゃんも新しい友だちもでき、この機会に感謝しています。



写真: 芦屋市市民生活部経済課 西野洋子さん

戦争が始まる原因の一つは「欲張る気持ち」からだと思う。

植民地は、弱い国から物をうばい取り、自分の国が豊かになるための手段だ。第一次世界大戦後に世界大恐慌が起きたときも、植民地を持って国はなんとかしのぐことができた。でも、アジアは植民地にされるばかりだった。日本も列強国(ドイツ、フランス、イギリス、アメリカなど)の仲間入りしたかった ために、中国に満州国をつくった。けれど、中国と手を組んでいたアメリカに「中国から撤退しろ」と言われた。それを日本が無視したためにアメリカは、日本が最も必要とする石油や鉄の輸出をストップした。日本は 77%の石油と 70%の鉄をアメリカに頼っていたため、追いつめられたネズミ状態になった。それで、燃料を確保するためにマレー作戦を行い、真珠湾攻撃でアメリカに戦争を仕掛けていった。しかし、物資に貧しい日本は長期にわたる戦いはむずかしかった。はじめは勢いもあり、どんどんいろんな国を占領していったが、ミッドウェー海戦を境においつめられていくようになった。

1944 年頃からは、東京をはじめ日本のあちこちがアメリカ軍からの空襲を受け、たくさんの民間人が犠牲になった。そして 1945 年 3 月にはついに沖縄にアメリカ軍が上陸し、4 人に 1 人の沖縄市民が亡くなった。そして 8 月に広島、長崎に原爆を落とされて、ようやく日本は敗戦となった。日本の軍人と民間人合わせて 310 万人が亡くなり、その他に日本軍は中国や韓国、アジア、南太平洋に侵略し、2000 万人以上の命を奪っている。

私が第二次世界大戦をはじめ、たくさんの戦争について調べようと思ったきっかけは、今の日本がだんだん戦争をしようとする方向に向かっている気がしたからだ。インターネットで第二次世界大戦を調べてみたら、マレー作戦や真珠湾攻撃などがでてきた。それはまるで私にはゲーム感覚のような世界で、「日本頑張れ！負けるな」と応援してしまいそうになった。それは私の「どうしたら戦争が止るか？」という調べるきっかけの想いとは全く逆の気持ちだった。

二度と戦争を起こさないようにするためには「強い反省の気持ち」が必要だと思う。けれど今の日本で反戦を考えるとときにはいつも被害を受けたことしか言っていない気がする。戦争を止めるときにはそれも力になると思うけど、むしろ「やられた歴史」よりも「やった歴史」を忘れないことがすごく大きな戦争のブレーキになると思う。例えばささいなことだけど、私と弟の姉弟ゲンカの中で、弟にやられた痛みでもうケンカはしらないと思うよりも、弟を傷つけて後悔する方がケンカのブレーキになると思ったからだ。

インターネットではやった歴史は出てこなかった。きっと物事はいろんな面があって、そこにいた人は1つの面しか見られない。いろんな人が別々の面を「これが事実だ！」と言うが、事実はずっと1人が事実全体を見渡すことはできないと思う。

今問題になっている「南京大虐殺」もまさにこのことだ。あったとか、なかったとか、三十万人殺した、いやいや三万人だった...というような問題だ。

私たちの周りには信じられないくらいたくさんの情報があふれている。その中で、どれを信じて、どう行動していくかはそれぞれの大切な責任だと思う。戦争は他人事のように思っていたが、ある日ふとふり返るとすぐそこまで迫って来ているかも知れない。だからいろんなことを知ること。でもテレビや新聞、政府だけに頼らずに、日頃から日本だけじゃなく世界中に信頼できる人たちと繋がっていることが大切なんだと思う。

私は今年いろんな戦争を調べてきて、改めて自分に問いかけた。「じゃあ、戦争をなくすためには私たちはどうしたらいいの？」それはよくばらないこと、人の気持ちになって考えること、世界中の信頼できる人と繋がること。この3つは小さなことのように思っていたけど、私にできる確実な力なのだということがわかった。

* 協力してくれた方々 *

赤井朱美さん

坂本新一郎(父)

* 参考文献 *

Wikipedia

<ja.wikipedia.org/wiki/太平洋戦争>

本多立太郎さんのビデオ(太平洋戦争の語り部)

写真:

「家族はどこへいってしまったのでしょうか？」[世界平和] 写真で学ぶ沖縄戦 [鉄の雨] より

<http://matome.naver.jp/odai/2127726384218993601/2127727284219205103>

(2014.2.19 参照)





* ポーポキのインタビュー *

☆大槌町の人たちと出会って☆

帰ってきたポーポキ！！

Ronyan~Satonyan~Morinyan~Aripanyan~Aasthanyan~Suzankanyan~Popoki

2013年12月6～8日

Suzankanyan & Aasthanyan
スザンカニャン&アスタニャン

スザンラニャン（ス）、アスタニャン（ア）：大槌に帰ってきたよ！！

ア：大槌に戻って来られて良かった！夢見たい！昨日までここに居たみたいに懐かしく感じる！

ス：うん！あの青い海と緑の山々を見て！冬の新鮮な空気が肌に心地いいね！

ア：そうだよ！ねえ、見て！元持さんがいるよ！

ス：あ！ポーポキと私たちの仲のいい友達の元持にやんだ！

ア：懐かしい人達に出会えてとても良かった！元持にやんのお母さんが朝ご飯に何を用意してくれたか気になるな。大槌を離れている時に、彼女の料理がとっても恋しかったんだ！

ス：うん、元持にやんのお母さんは料理がとっても上手だもんね！でもアスタ！それだけが私たちがここに居る理由だったかな？☺☺

ア：たぶん…笑 うそうそ、もちろん違うよ！

ス：オッケー、じゃあ、どうして今回私たちはここに居るでしょう？

ア：うーん、ポーポキ友情物語で何年もかけて集めた絵やメッセージを皆と共有するために、ここにいるんだよね。そして、大槌町とそこに住む人々と繋がって、平和や希望について考えたり話したりもしたくてここに居るんだね。

ス：そして、考えや互いに感じあった感覚や学んだ事の共有もしたいね！

ア：そうだね！a) 3日間にわたるポーポキ友情物語の布の展示 b) ポーポキの人生の中の平和と健康に関する、ある一日をイメージした五ページの紙芝居、を通してそういう事をしようと思っているんだ。

ス：待ちきれないわ！じゃあそろそろ大槌町のショッピングモール「マスト」に行こうか！

ア：よし、いこ…スザンカにやん…見た？

ス：なにこれ？



ア：魚かな？川に魚がたくさん居る！でも、川がとても浅くて苦しんでいる
みたいに見えるよ！ポーポキ…

ポーポキ：あれはシャケだよ！昨年に震災後初めて帰ってきて、今年も川に戻ってきたんだ！卵を産むために長い距離を泳いできた後なんだよ！

ス&ア：え、ほんとう！？

ポーポキ：そうだよ！シャケ達は卵を産んだ後、死んでしまうのが悲しいんだけどね…でもそれが自然のあり方なんだ。それが生命の循環なんだよ…

ス：じゃあ、その後はシャケ達はどうなるの？人間が食べるの？

ポーポキ：実は違うんだ。人間達はこういうシャケは強いストレスにさらされてしまったから、美味しくないとってたべない。

ア：そうか…じゃあただ川に流されていってしまうの？

ポーポキ：悲しいけど…そうだよ。

ス：それでシャケ達が幸せであれば良いな…

ス、ア&ポーポキは遠くの方でロニャンが「ニャン達、展示会の為にマストに向かう時間だよ」と言っているのを聞いた。

ア：わあ！今回は布がたくさんあるよ！見て、スザンカにゃん！これは大槌町から、これはフィリピンから、そしてこれはチェコ共和国から届いたものだよ！

ス：そうだよ！見て、これはグアムから、こっちはピッツバーグでこれはイギリスからだよ！



ア：みへんな綺麗だし、素敵なメッセージは色々な言語で書かれているね！

ス：そうだよ！ポーポキはいろいろな所を旅して来だし、今も旅しているんだ！そして、ここに新しいメッセージを書いたり、絵を描いたりするスペースがあるよ！

ア：わあ、スザンカ見て、皆こっちに向かってきているよ！私たちの展示会と日曜日のワークショップのことを伝えようよ！

ス：うん、行こう！

ス&ア：こんにちは！私たちはポーポキ・ピース・プロジェクトから来ました！ここでポーポキ友情物語の布のメッセージを展示しています、時間があったら是非見てきてください！

日曜日には小さなワークショップも開きます！暇があったら一緒に参加してください…ありがとうございます！

ア：スザンカにゃん、お絵描きコーナーにいる子供達にまざろう！

ス：もちろん！一緒に話したいし、私もお絵描きしたい！！

ス&ア：こんにちは！私たちはスザンカにゃんとアスタにゃん！みんなの名前は？なにを描いているの？…イルカだ！なにを描いたの？ルルちゃん？あなたのイルカの名前？…ポーポキの本の中から何か読もうか？そうだ、こんなのはどう？私がみんなに英語で読むからみんなは日本語で読んでくれる？…よし、じゃあやってみよう！

ア：ああ、スザンカ！お絵描きしたり子供と遊んだりするのって、とっても楽しい！とっさの鋭いコメントや独特の視点にいつも驚かされてしまう！たまに、私も子供だったらなあと思っちゃう！

ス：そうだね、お絵描きに集中している子供達を見るのは好きだなあ。とっても自発的だったり、思った事やその時に感じた事を何でも描いてしまうんだから驚くなあ。子供達の中には描く前に長い間考える子も居るし、中にはただただ描いて、描いて、描いて…という事も居るし。

ア：そうだね、延々と書き続ける小さなアーティストにも何人か会ったね！

ス：うん！あ、こんにちは！初めまして！これを見て…世界地図だよ…ここが日本、ここが

アメリカでここが私の国、チェコだよ…もしも世界のどこでも旅する事が出来るならどこに行きたい？…あなたは絵を描くのが好き？…ポーポキを描くのが好き？…よし、じゃあポーポキを描こう！…猫ちゃんは好き？ 私も！…



ス：アスタにゃん！展示会で私たちが得た、お互いに話したり共有したり、知り合ったり、学び合う機会って本当に素晴らしいと思う。そして、どの瞬間にもポーポキが私たちの心を開くのを助けてくれるような感じがするよ！

ア：あれ、時間がすぎるのは早いね…もう神戸に帰る時間だ…

ス：そうだね…でも、素晴らしくて実りのあるたびになったと思う！

アスタにゃん、今回の大槌町で一番興味深い経験や発見は何だった？

ア：うーん、私は大槌町でみんなの喜ぶ顔が見られた事が嬉しかった！そして、興味深かったのは、マストがどれだけ人々の社会的交流やコミュニケーションの場として活躍しているかという事かな！色々な年代の人が来ていたよ！お年寄りもショッピングやマッサージ、そして店員さんや友達とのおしゃべりのためにそのお店が閉まるまでいらっしゃったよ。マストは、個人や家族が一日を過ごすための幸せな場所だという風に感じられたよ！こんな場所がみんなの為にがあると知る事が出来て幸せだなと思ったよ！スザンカはどうだった？

ス：まず、たくさんの人と話したり、感覚や想いを共有出来てとっても幸せだった！これまでにないほど、笑ったり話したり議論したりしたように感じるよ！それに、前に私たちがここに来た事を覚えてくれている人達に会った時もうれしかったなあ！みんながポーポキの展示会場にやってきたときの反応をみるのはとっても面白かったな。あるときは両親が子供に「お絵描きしたい？」と聞く側で、あるときには子供達が「何があるか見てみよう！」と両親に言う側だったよ。そして、始めの方では親の方たちは描く気はなかったのに、子供達が楽しんでるのを見て後で参加している人達も居たね。お母さんはお父さんが絵を描くのが上手な事に驚いたり、子供がお母さんが絵を上手に描ける事に驚いたりしていたよ。ポーポキと一緒に居る事で私たちはみんな新しい事を学んだり経験したり出来ると思うな！

ス&ア：ありがとう大槌！！また、帰ってくるからね！！！！☺

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 69

今月のテーマはでリラックス！



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. では、目尻の横に手をおいて、軽く指で押さえてみましょう。
3. 次は、指を目頭において、優しく押さえましょう。目を押さえないでね。
4. 次は首。手を頭の後ろにおいて、指で首の骨の両側を押せてみましょう。
5. できましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。



一緒にいかが？

次回のポ一会 2月28日(金) 神戸YMCA 19:00～

2.22 ポーポキのミニ平和映画祭！ 神戸YMCA 301 13:00～17:00

3.8-10 ポーポキ in 大槌町！ 3.11を前に、ポーポキは大槌町の友だちたちに「元気」とどけに行きます！

3.20-24 ポーポキ in 辺野古&高江！ ポーポキは辺野古と高江で基地反対の仲間の応援に行ってきます。みなさんも応援してください！

3.26-29 ポーポキ in トロント！ ろにゃんは学会でポーポキの方法論について発表します。

ポーポキの友だちからのご案内

2014.2.25 神戸YMCA からの案内 神戸YMCA 憲法を知る集い Vol.2 教えて、きほんの“き”『憲法のこころ』 19:00-20:30 神戸YMCA 三宮開会 無料 申し込み先 神戸YMCA 国際・奉仕センター 078-241-7204 houshi@kobeymca.org

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8 面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22 面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4 面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1 面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「ポーポキ、平和って、なに色?」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面





私にとってのポーポキ

Bond of friendship !!

小向則夫

昨年12月第二回ポーポキ友情物語展が、2月に引き続き大槌町マストで開催されました。今回も神戸大学大学院のアレキサンダー先生をリーダーに、学生ボランティアスタッフの方々がこのイベントのため、遠路大阪などからきて下さいました。

スタッフの中には、学生と仕事の二足のわらじをはいている人もいて、多忙の中仕事をやりくりして駆けつけてくれた。

今回も会場には沢山の人が足を運んでポーポキ展を楽しんでいました。このイベント2月にも同会場で行われた事もあり、地元の人の中には内容を知っている人も多く今回比較的リラックスして楽しんでいました。

やはり、人間は考えるだけではダメで、それを行動に移す事はより重要であると考えます。ポーポキ展会場は今回も和やかな(なごやかな)雰囲気になまれ、被災者の方々もスタッフとのコミュニケーションやポーポキを通じて随分心が癒されたと思います。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!